

～各高校卒業式～

「母校を守つて」

古仁屋高でも卒業式

瀬戸内町の古仁屋高校(荷福章義校長、生徒149人)でも、第63回卒業式が同校体育館であつた。今年度の卒業生59人は、教師や保護者、在校生に見守られながら、それを思いを胸に3年間過ごした校舎を卒立つ。

卒業生は、清々しい表情の凛とした姿勢で入場。慣れ親しんだ高校生活を振り返りながら、卒業証書を受け取った。荷福校長は「これからが『石の上にも三年』

た。卒業生は、清々しい表情の凛とした姿勢で入場。慣れ親しんだ高校生活を振り返りながら、卒業証書を受け取った。荷福校長は「これからが『石の上にも三年』

た。卒業生は、清々しい表情の凛とした姿勢で入場。慣れ親しんだ高校生活を振り返りながら、卒業証書を受け取った。荷福校長は「これからが『石の上にも三年』

た。卒業生は、清々しい表情の凛とした姿勢で入場。慣れ親しんだ高校生活を振り返りながら、卒業証書を受け取った。荷福校長は「これからが『石の上にも三年』



群島高校で卒業式

希望胸に学びやと別れ

県立高校など奄美群島各地の高校で1日、卒業式があった。保護者や教職員、在校生らが見守る中、卒業生たちは思い出の詰まつた学びやを後にした。

古仁屋高校「日々思い出し頑張る」

古仁屋高校（荷福章義校長）では普通科59人が卒業証書を受け取った。荷福校長は「社会に出たら自己責任の意識をしっかりと持ち、高校で身に付けた教養を生かしてほしい。輝かしい前途に幸あれ」と式辞を述べた。

在校生代表として2年生の島田千春さんが「何事もあきらめずに取り組む先輩の姿は私たちの良き手本だった。古仁屋高校は今、存続の危機にあるが、伝統ある学校を私たちが必ず守っていく。今まで地域に愛される学校にしていきます」と送辞。

卒業生代表の原健人君は「小学生のころから多くの時間を過ごした同級生たち。私たちはいつまでも仲間であ



式後のロングホーム

会場を後にする卒業生

ルームでは、卒業生一人ひとりが保護者に向けて将来の夢や感謝の言葉を贈った。宮本愛さんは「お世話になつた先生方に感謝の気持ちでいっぱい。服飾の

専門学校に進み、将来はファッショング関係の仕事がしたい」と抱負を語った。保護者たちは涙を浮かべながら、わが子の成長と新たな門出を喜んだ。